

居合道だより

令和6年7月

第217号





はじめに

強化研修委員会 和泉 修

暑中お見舞い申し上げます。

今年の夏は、特に暑く、毎日のように「熱中症アラート」も出ており、“外出を控えて運動は中止を”と呼びかけられています。ただ、私たち居合道を少しでも上達したいと願うものとしては、熱中症に十分気を使いながら稽古を続ける日々です。

7月より、例年通り全日本居合道大会に向けて、代表候補メンバーによる強化稽古がはじまりました。今年は香川大会の団体戦に福岡県代表が派遣されることもあり、四段の選手も加えて例年より多くのメンバーが集まりました。

た。私は今年から強化・研修委員として参加させてもらっていますが、少しでもお役に立てるようにともに研鑽してまいります。

さて、話題は変わりますが、夏の風物詩のひとつに花火大会があります。私が住むみやま市でも花火大会が毎年行われており、今年は48回目となりました。しかし残念なことに実行委員会である商工会青年部の不足などにより今年が最後の開催となりました。福岡県内4つの打ち上げ花火の製造元のうち2つがみやま市にあり、例年約8千発の花火が打ち上げられていますが、今年が最後ということで9千発の花火で、テレビでも紹介されました。当日も暑い中、最後の花火大会をみたいという帰省する方を含め、市外からの来場者も例年になく多くにぎわいましたが、子どもの頃から、毎年あるものが当たり前だと思っていたものがなくなるのはさみしいものですね。

まだまだ、炎熱の夏の盛りですが、この暑さに負けない健康で快適な日々が過ごせるようお祈り申し上げます。



七段昇段にあたって所感

福岡武道館居合道部 荒木 正亨



令和 6年 6月 28日、福岡県にて行われました居合道審査会において、七段へ昇段させていただき、大変身の引き締まる思いであります。これもひとえに福岡県の諸先生方をはじめ、目標としております各県の諸先輩方、日ごろより切磋琢磨させていただいております多くの剣友の皆様のご指導ご鞭撻のおかげであると感謝して

いる次第でございます。

受審にあたって、定例の稽古では福岡武道館の池田会長や野田事務局長を中心に、多くの会員の皆様が模擬審査形式の稽古にご協力いただき、本番さながらの緊張感で稽古を重ねることができました。また、今回大変お忙しいにもかかわらず、私自身のスケジュールに合わせて毎月数回、朝から夕方まで付きっきりでご指導いただいた小田信秋先生には感謝に堪えなく、また恩返しのできたと胸をなでおろしております。

今回、中央審査を 6年ぶりに迎えるにあたり、審査の半年前より緊張とうまく付き合えるよう、各地の大会に参加したことに加え、職場環境も変わり、時間的に稽古量が確保できる状況でありましたので、毎日自宅近くの稽古場にて 1時間集中して指導いただいた内容を中心に必死に稽古を続けてまいりました。

審査当日は、福岡県の先生方のきめ細やかな運営のおかげで、会場到着から受付までスムーズに進むことができ、稽古場に入ってからとにかく切っ先をしっかりと意識し、一つ一つ小田先生にご指導頂いたものを繰り返し確認し、気持ちと身体の準備を済ませました。

審査に入り私の順番が来た時に大会とはまた違った緊張感があり、最初の指定技を抜くまでは少し動きが硬かった様に思いましたが、それ以降は今まで稽古してきた自分をしっかり見ていただこうと思い、落ち着いて指定技を抜き終わり全て出し切ることが出来ました。

七段に合格し、また新しい修行の出発点に立つことが出来ましたが、まだまだ業も心も未熟な私でございますが、福岡県や後進の方々の為により一層に日々地道に研鑽を重ね段位に恥じる事のない様精進してまいりますので、諸先生や剣友の皆様の変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げ所感にかえさせていただきます。

六段昇段に際して

飯塚居合道同好会 高津 輝明



冒頭に、ご指導賜りました先生方、色々ご忠告いただきお導きいただいた諸先輩方、一緒に稽古に付き合ってくれた同僚の皆さんに心より感謝いたします。また仕事サボって稽古に勤しむのを、横目で生暖かく見守ってくれた家族に感謝いたします。

一昨年 2022年の夏頃から、準備を始め、その年末に、生まれて初めてテニス肘で腕を痛め、受験資格のある 3月に受けるかどうか迷ったのですが、稽古しながら通院して、注射して、「痛いのは忘れる！」と覚悟を決めて、2023年3月京都にて初めて受審しました。

この時はやはり準備ができてない、あえなく撃沈。

2回目ちょっと栃木まで遠征。いや遠いわ暑い雨が急に降るわ、1日目は移動だけで途中にこれまた妻沼聖天(大変素晴らしかったです)にお参り行って、次の日2回目審査に臨んだ。急な大雨で床はベッタベタでツツカリまくり撃沈。関東は印象として技が早い。

3回目は東京をパスして、しっかり稽古して京都と福岡で勝負！と思っていました。京都はなぜか時間が気になり逆に早すぎてしまって、残心ないやん！で撃沈。しかし前の日に旧友と一緒に稽古でき、その時友人の師匠にも見ていただき、色々解説を頂いて「おお～初めて知った～」って事がたくさんありました。(間抜けな話ですが、そこで教えていただいた事が、すごく腑に落ち、稽古する方向性が見えたことは言うまでもありません。)なんかすごく得した気分審査に失敗したものの、持って帰る事が多すぎて割とニコニコしながら帰ってきました。朝に道を聞かば、夕に死すとも可なり。深謝！

そこから、次こそ絶対！と決めて、ほぼ毎日稽古に時間を裂き、たとえ1時間でも！と徹底的に根本から稽古し直しました。もちろん肘の状態もギリギリ。「稽古は嘘つかない！」経験則では知ってますが、やればやるほど力が入り、自分はこんなに下手だったんだと思い知り、自分が立っている所がわからなくなりながら、ひたすら弱点を克服するための稽古を積み、往生際悪く前日と当日朝も地元で少し稽古して、もちろん内容は自分ではわかりませんが、なんとか先生方のお目にかない合格頂けたようで、力が抜け、急に痛くないと思っていた肘が痛み出しました。やっと階段あがれたんだという実感と共に。 感謝！

8月9月の予定

8月 11日(日)	福岡県居合道講習会	福剣連	福岡武道館
9月 1日(日)	福岡県居合道段位審査会	福剣連	福岡武道館
22日(日)	福岡県居合道伝達講習会	福剣連	福岡武道館

編集後記

梅雨が明けたらいきなり殺人級の猛暑、やれやれ想像はしてたけど暑いですね。

そんな中、居合道初心者体験居室に8名（その他の直接入会等も入れると早くも10名を超えております）の応募があり、内4名が少年少女が集まってくれています。少年たちはやはりアニメの影響だったりするのですが、今までは圧倒的に「鬼滅の刃」と言うアニメでしたが、今回は1名「怪獣8号の保科副隊長のキャラに憧れた」と言う少年がいます。目をキラキラさせて教えたことをスポンジの如く吸収する少年のオーラが輝いて見えました。

また、今季より武道館の佐伯先生が広報委員に加わって、体験教室の参加前の事前体験にも活発に活動していただいております。今後とも広報活動にご協力よろしくお願ひします。

今年も「居合道初心者体験教室」の募集が始まっており、7/末時点ですでに8名の応募があり、対応中でございます。皆様にも何卒ご協力賜りますようお願いいたします。



写真は初回稽古風景です

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第217号 令和6年8月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW